

常纂寺便り

第41号

年頭のご挨拶

檀信徒総代表 吉井直樹



あけましておめでとうございます。天気にも恵まれたお正月三日、良き一年になることが期待されるスタートとなりました。

思い返しますと、昨年はお正月から能登の地震、羽田空港での事故などに始まり、酷暑に水害や台風などが続き、生成AIのびつくりするような発展、果てはアメリカ大統領選挙、兵庫県知事選のやり直し選挙と、天人すべてにおいて激しく龍が動き回る一年でした。巳年の今年は、世の中の変化が激しい中でも、良いものを粘り強く遺していける年になるよう願っています。

昨年はまた常纂寺においても数々の変化がありました。長らく総代表を務めていただいた北川富男さんが勇退され、私が代表を引き継ぐことになりました。北川富男さんの後継として北川誠さんが、水田隆さんの後継としては吉本良秀さんが新しく総代に就かれました。気心知れた総代六名で今年も常纂寺を盛り立てて参ります。

コロナ禍が続ぎ長らく取りやめになっていた行事も再開されています。夏の施餓鬼法要はコロナ前の形に戻り、地藏盆は新しい形を採り入れて活況を取り戻しました。一方、十夜法要や弁天祭りは参加者が減ってきていますので、新しい形を考えていきたいと思います。

浄土宗開宗八五〇年を記念し、秋のバス団体旅行として、『法然と極楽浄土』展（京都国立博物館）、総本山知恩院へお参りしました。バスの台数が限られていましたので、地元の家様を中心にお声掛けして、三十一名での参拝となりました。



お天気も良く、知恩院堂内を案内して下さる若いお坊さんの説明も楽しく、良い旅行となりました。今年には西区仏教会の涅槃会を常纂寺が担当することになっています。また住職より別途ご案内があるかと思しますのでお体を空けておいてください。

令和7年度 年回表

年回法要は、ご先祖さまの供養だけでなく、親族の結びつきを強くして、仏教に親しみ、心の安らぎを得られる貴重な仏事です。良い機会とお考えになってはいかがでしょうか。

1周忌	令和 6年寂
3回忌	令和 5年寂
7回忌	平成 31年
13回忌	(令和元年) 寂
17回忌	平成 25年寂
23回忌	平成 21年寂
25回忌	平成 15年寂
27回忌	平成 13年寂
33回忌	平成 11年寂
50回忌	平成 5年寂
	昭和 51年寂

寺総代

代表	吉井直樹
副代表	北川誠
会計	伊藤裕幸
	岩崎明
	吉本良秀

合掌

ご報告とお礼

皆様からの「お賽銭」は、日本ユニセフ協会、日本赤十字社、アイメイト協会等を通じて、災害義捐金、世界の子どもたちの救済等に活用させていただいております。温かいご協力に感謝申し上げます。

第1回（平成23年3月18日）～

第70回（令和5年11月15日）までの合計金額は 5,756,880 円でした。

第71回 令和6年12月11日	50,000 円	(お賽銭 42,689 円)
		アイメイト協会
	100,000 円	(お賽銭 71,831 円)
		日公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団
	100,000 円	あしなが育英会
	100,000 円	ウィメンズネットこうべ
		(弁天祭・十夜会祈願料 162,000 円)

第71回までの総合計は 6,106,880 円です！！

発行所 浄土宗永金山 常纂寺
 神戸市西区枝吉4丁目40番地
 電話 078(928)6622
 発行日 令和7年1月10日
 発行所 佐藤明宏・吉井直樹